

# 棚底地区振興会報 アイラトヒカスラ

棚底地区振興会  
倉岳町棚底1786-4  
棚底地区  
コミュニティセンター  
Tel.64-3664  
fax63-7544

## 棚底のちよつとした話 ②⑤

### 鳴川にヒモヅルが

熊本県指定の天然記念物であるヒモヅル(南方系のカズラ)を鳴川で発見しましたので、ご報告します。

昨年のある日、本渡の資料館の業務で鳴川の藪の中を歩いていたら、カズラ様なものが足に絡まり、よく見てみると、何とカズラでした。県の依頼で月1回は上島の重要史跡等を巡回していますので、ヒモヅルは見慣れてはいるものの念のため投石のものと比べてみましたが、間違いありませんでした。

以前は、投石以外の念珠岳界隈やサギリキ線沿いにも見られたそう、実際の指定地も念珠岳周囲の地番となっています。最近は山に入る人が少なくなりましたので、確認は難しくなっています。鳴川地区の皆さんはご存知だったかもしれませんが、棚底にも自生していたとは。まあ、珍しいだけで、特にきれいな植物ではありませんが、驚きと同時に感動した次第です。

浦の投石に自生しているヒモヅルは昭和8年に熊本県で第1号の天然記念物として指定されました。日本で初めて発見・確認をされた当時本渡高等女学校富田・谷山両先生のご尽力によるものです。富田先生の『天草郡植物誌・昭和8年』によれば、新発見の和名を『モカズラ』としたとあり、序文では真っ先に『モカズラ』を紹介されています(名称がヒモヅルに変わった経緯は不明)。

なお、国・県・市町村の指定文化財は、名勝、建造物、歴史史料、天然記念物、文化的景観、史跡(棚底城跡等)、考古資料などありますが、浦のヒモヅルは以上の全部をふつくるめても天草では最初の指定となっています。

今後は、地権者の方のご了解を得て、自生範囲の確認を行い、追加指定にもっていけないかなと案じています。

棚底3区 歳川喜三生

ヒモヅルの写真は下です ↓

### 【ヘゴにからみつくヒモヅル】



令和5年度日本の宝島“天草”づくり講演会が1月27日(土)五和町の御領地区コミュニティセンターで開催され、まちづくり担当職員及び地域住民ら約200人が参加した。講演会に先立ち、天草市まちづくり・地域づくりの表彰式があった。奨励賞を地域の遺産や文化の素晴らしさを再認識すること、地域への愛情を醸成し、その魅力を広く発信、観光客の増加に繋げた牛深地区振興会が、また「優秀賞」は、西平橋公園にあるアコウの木、パワースポットの大岩など地域資源を活かしたまちづくりで観光客増加・地域活性化に取り組んだ大江地域づくり振興会が受賞された。

日本の宝島  
“天草”づくり  
講演会「開催！」



【雪浦あんばんね渡辺理事長】

そのあと講演会に移り雪浦あんばんね理事長の渡辺督郎氏が「移住者と地域住民が創る ウェルビーイングな地域づくり」と題してお話された。渡辺氏は青年海外協力隊の隊員やJICAのボランティア調整員としてソロモン諸島で数年活動された後、ふるさと雪浦にUターン。その経験に基づいて、いろいろなイベントを実施、地域のPRや交流人口増を図り、空き家対策や移住促進に繋がる取り組みで地域おこしに尽力されてきたという。講演では、これまで実践してこられた地域づくりに関わる貴重な活動をスライドを使いながら話された。

最後に株式会社KASEの稲盛さんが「空き家等活用推進モデル事業」について牛深で取り組んでおられる食堂や民泊などについて事例を紹介された。

～ガイドンス施設設計の業者選定開始～



【選定基準等を審査している様子】

棚底城跡ガイドンス施設と倉岳支所の建築・展示設計業務を行う業者選定に向けて、1月24日から公募型プロポーザルを開始しました。

公募型プロポーザルは、通常の価格競争による入札とは異なり、実績・専門性・技術力・企画力・創造性などを審議して業者を選定するものです。この方法は、御所浦恐竜の島博物館や市役所本庁舎の設計業者を選定する際にも採用しました。

業者によるプレゼン等も行われ、最も優れた者と契約を行います。業者の特許や選考過程の情報漏洩防止の観点から、審査会等は全て非公開ですが、ゴールデンウィーク前には設計業者が決まる予定です。

(天草市文化課 宮崎)

学術調査のため延命地蔵と倉谷を現地視察しました！

2月13日(火)棚底物語の編集員ら10人で学術調査のため、延命地蔵と倉谷へ行ってきました。延命地蔵は、昭和47年の天草大水害のとき流失し、土砂に埋まっていたのを41年ぶりにトレイルクラブの稲田代表らが発掘された貴重な文化財です。

当日は、倉岳の中腹まで車で行き、そこからロープを伝いながら急斜面を滑るように降りて行きました。踏ん張りがきかず何回も危険な目に遭いました。歩くこと約30分で延命地蔵が祀られている場所に着きました。周辺は、人目につかない崖下に位置し、少し平になっていて、ため歳川さんは「修験者がお堂に籠り修行をしていたのではないか」と説明されました。台座には享保9(1727)年と刻まれたもの、大光院や昭和29年建立で江岸寺住職の名前が記された比較的新しい年号の台座もありました。しかし、正確には何体あったかなど詳しいことは分かっていないので、さらに調査を続けていきたいという話でした。

次に昼食休憩を挟んで倉谷へ行きました。倉谷は、倉岳と矢筈岳の中間付近から崖を転がるように降りたところで、こちらも悪戦苦闘しながら目的地にたどり着きました。年配の方なら「ああ、あそこなら昔行ったことがある」と懐かしんでおられるかもしれません。



【急斜面を登る編集員ら】



【延命地蔵が祀られているパワースポット】

貯水池水は溜まっていなかったは、加工した石を積んで堰き止めてあり、こんな崖下にどうやって運んでこられたのか改めて先人たちのパワーと知恵に感動しました。ここの石碑山王大権現)には文化11(1814)年の年号が刻まれています。

今回、延命地蔵と倉谷の学術調査に同行して、新しい発見と共に棚底に点在する貴重な文化財を調査、記録して後世に残すことの大切さを強く感じました。

振興会部会員必見!

主な行事予定

今月の石垣散策トイレ掃除当番

地域づくり部会 毎週 火、土曜日  
倉岳小学校 毎週 木曜日

3月 1日(金)～7日(木)

春の全国火災予防運動

3月 7日(木)熊本県知事選告示日

3月17日(日)宮田ペアマラソン大会

3月24日(日)熊本県知事投票日

(予定のため変更になる場合あり)

今月の人口

高齢化率 53.27%

人口動静

	世帯数		人口	
	12月末	1月末	12月末	1月末
浦	271	269(-2)	594	584(-10)
棚底	467	464(-3)	984	978(-6)
宮田	438	437(-1)	869	867(-2)
合計	1,176	1,170(-6)	2,447	2,429(-18)